

新産業廃棄物最終処分場の整備検討経過 (県資料より作成)

2019年
(平成31年)

2月 「産業資源循環協会」が公共関与の最終処分場確保を県に要望

3月 新産業廃棄物最終処分場整備のあり方検討委員会(計6回開催)

委員
(5名)

国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター長

茨城大学人文社会科学部現代社会学科教授

(一社) 経営者協会理事兼環境委員会委員長

(一社) 産業資源循環協会会長

市長会・町村会常務理事

8月 「新産業廃棄物最終処分場整備のあり方に対する基本方針」公表

10月～ 3名の専門家を委員に加えて、46箇所候補地を評価選定

2020年
(令和2年)

2月 候補地を3箇所に絞り込み

3月～ 県幹部で構成する処分場整備候補地選定会議(計3回開催)

・候補地3箇所から1箇所を選定

5月 県が日立市諏訪町(日立セメント太平田鉱山跡地)を候補地として公表